

認知症フォーラム&映画上映会

■ 上映映画「妻の病ーレビー小体型認知症ー」の紹介

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との
10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。

——愛する人が認知症になったとき、一体何が大切なのか。

「まるで夢のようだね」

認知症の日々を生きる妻に、夫が語りかけます。二人はうなづき合います。この映画は認知症のドキュメンタリーというよりも、病を経て絆を深める、ある夫婦の愛の物語です。

石本浩市（63歳）さんは、ふるさとして小児科を開業する医師です。妻、石本弥生さんは50代から若年性認知症となり、10年間、石本夫妻は病とのたたかいに明け暮れてきました。石本さんは医師ならではの観察眼で、妻の発症以来の日常をまるでカルテのようにこと細かに記録していました。

映画「妻の病ーレビー小体型認知症ー」は、高知県南国市の豊かな自然に生まれ、支え合うように生きてきた一人の医師と認知症の日々を生きる妻との、10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語です。

「生きなきゃ・・・ふたりで、よう頑張ったと思う。」

「うん、生きなきゃ。」

（演出：伊勢真一）

*当日は、演出の伊勢真一様にご挨拶していただく予定です。



出演・・・石本浩市
石本弥生
石川真理
題字・・・細谷亮太
撮影・・・石倉隆二
音響・・・米山靖
企画／製作・・・いせフィルム
演出・・・伊勢真一
助成 文化庁文化芸術振興費補助金

■ 次回のご案内

今回は予約分で会場の定員に達しており、当日入場券は発行していません。まことに申し訳ありません。

今回は10月26日（月）に都筑公会堂（都筑区茅ヶ崎中央3-2-1）での開催を予定しております。

もし、よろしければ事前にご案内を送らせていただきますので、住所・氏名・連絡先をご記入ください。



■ 問い合わせ・申込み先 医療法人社団folkモア 事務センター

*参加ご希望の方は、電話かファックスでお申し込みください。

電話：045-476-1615 FAX：045-472-5565

①氏名（フリガナ）	②申込人数 名
③住所	④電話番号 ()

*ファックスの場合は、上記に記入して送信をお願いします。
(複数参加の場合は代表者の方をご記入ください。)